

授 業 目 名	心 理 学	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1 年 (前 期)
担 当 教 員 名	猪 川 俊 博	単 位 数	2 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 これまでに行われた心理学研究を紹介しながら、私たちの心の働きについて広く概観したいと思います。リハビリテーションの場面で出会う事象についても、心理学の立場から解説していきます。</p> <p>〔学習目標〕 (1) 人間に共通する心の作用や行動について理解する。無自覚的・潜在的な心の働きがあることについても理解する。 (2) 心の働きには個人差や文化差といった多様性が存在し、個人の中でも発達や状況によるゆらぎがあることを理解する。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	ガイダンス・心を知る方法		
第 2 回	感覚・知覚：私たちは「ありのまま」に外界を見ていない？		
第 3 回	注意：たくさんの情報から必要なものを選び出す仕組み		
第 4 回	学習		
第 5 回	記憶：覚えること・忘れること		
第 6 回	動機づけ：「やる気」の仕組み		
第 7 回	感情：心を動かすエネルギー		
第 8 回	思考・意思決定：心にひそむいろいろなバイアス		
第 9 回	知能		
第 10 回	パーソナリティ①		
第 11 回	パーソナリティ②		
第 12 回	自己と他者		
第 13 回	集団の心		
第 14 回	心の発達		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	レポート(20%)、筆記試験(80%)		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 系統看護学講座 心理学(医学書院)		
履 修 上 の 留 意 点	なし		
メ ッ セ ー ジ	医療従事者として多くの人に接する皆さんは多くの人の「こころ」に接することになります。他者の心を大事に取り扱うためには、心がどのようなクセを持っているか知っておく必要があります。この授業を通して心の理解を深めてもらえたらうれしいです。		